

第 7 9 回 東 三 河 中 学 校 総 合 体 育 大 会

柔 道 競 技



愛知県中小学校体育連盟東三河支部

期 日 令和 7 年 7 月 1 9 日（土） 男女団体戦

2 0 日（日） 男女個人戦

会 場 桜 丘 学 園

第 7 9 回 東三河中学校総合体育大会柔道競技

日 程

- 会場準備 8：00～（副部長，会場主任，二川中・小坂井中生徒）
- 役員集合 8：15（受付・計量・物品）
- 受付 8：30～8：45
- 計 量 8：45～9：10（2日目：8：45～9：00）
- 審判監督打合わせ 9：20～9：30（2日目：9：05～9：15）
- 開会式 9：30～（2日目：9：15～）

1 日 目 【団体戦】	2 日 目 【個人戦】
① 開会宣言 ② 優勝旗返還（男子：二川、女子：本郷） ③ 柔道部長挨拶（ 学校長： 先生） ④ 競技上の注意（審判長： 先生） ⑤ 選手宣誓（本郷） ⑥ 閉式通告 ○試合開始 9：45～（2日目9：20） ①女子予選 ②男子予選 ③女子準決勝 ④男子準決勝 ⑤女子順位決定戦 ⑥男子順位決定戦 ※決定戦は勝敗が決まった時点で終了とする。 ⑦女子決勝 ⑧男子決勝 ○ 閉会式 ①開式通告 ②成績発表並びに表彰 ③閉式通告	① 開式通告 ② 競技上の注意（審判長） ③ 閉式通告 ○試合開始 9：20～ ①各階級トーナメント戦 順位決定戦 ②決勝戦（男子・女子） ○閉会式 ① 開式通告 ② 成績発表並びに表彰 ③ 講評（ 先生） ④ 閉会宣言
県大会申込書配布	県大会申込書配布

審判規程に関する申し合わせ事項

1. 国際柔道連盟試合審判規程（2025.4.1 施行）・「少年大会特別規程」（2025.4.1 改正）で行う。
2. 試合時間は、団体戦・個人戦共に3分間とする。延長戦（ゴールデンスコア）は、時間無制限とする。3回目の「指導」が与えられた時点で「反則負け」とする。抑え込みのスコアは、有効5秒、技有10秒、一本20秒とする。
3. 試合は、「一本」「技有」「有効」「僅差（『指導』の差2）」の内容によって勝者を決定する。
4. 優勢勝ちの判定基準
 - (1) 団体試合の個々の試合は、技の評価は「有効」以上とするが、技の評価が同等の場合「指導」差が2以上開いたとき、少ない選手を「僅差」の優勢勝ちとする。「指導」差が1以下の場合は、「引き分け」とする。 ※代表戦本戦の基準も同じ
 - (2) ゴールデンスコアについては、規定の試合時間が終了した時点で、試合両者にスコアがない場合、もしくはスコアが同等である場合、「指導」差が1の場合、その試合はゴールデンスコアに突入する。ゴールデンスコアに入る前の規定試合時間内に与えられたスコア、ならびに罰則は、引き続きスコアボードに反映される。スコアが与えられた時点で、ゴールデンスコアは直ちに終了する。ゴールデンスコア中に「指導」が与えられた場合、与えられた選手が相手よりも多くの指導を受けたことになる場合、その試合は終了する。
5. 罰則

3回目の指導が与えられた時点で反則負けになる。
6. 次の場合は、ゴールデンスコア方式により勝敗を決める。
 - (1) 同時「一本」
 - (2) 累積による両者「反則負け」
7. 国内における「少年大会特別規程」（2025.4.1 改正）

国内における少年（中学生以下）の試合は、国際柔道連盟試合審判規程に則って行われるが、安全面を考慮し、次の条項を加え、あるいは置き換えたものによって行なうものとする。

第17条(抑え込み)
附則として次を加える

寝技の攻撃・防御において、脊椎及び脊髄に損傷を及ぼす動作と判断したときは「待て」とする。

第18条（禁止事項と罰則）
指導（軽微な違反）

 1. 立ち姿勢で相手の後ろ襟、背部又は帯を握ること。
ただし、技を施すため、瞬間的（1, 2秒程度）に握ることを認める。
（注）中学生は、試合者の程度に応じて、後ろ襟を握ることを認める。
 2. 両膝を最初から同時に畳について背負投等を施すこと。
 3. 関節技及び絞技を用いること。
 4. 無理な巻き込み技を施すこと。
 5. 相手の頸を抱えて大外刈、払腰などを施すこと。
 6. 小学生以下が裏投げを施すこと。
 7. 「逆背負投」（通称）の様な技を施すこと。
 8. 両袖を持って施す投げ技を施すこと。

反則負け（重大な違反）

 1. 攻撃・防御において、故意に相手の関節を極めること。
8. 「コーチの振る舞い」、「脳震盪の対応」、「柔道着の乱れによる罰則」を適用する。

9. 団体戦

- (1) トーナメント戦とする。
- (2) オーダーは体重の軽い者から順序よく組む。ただし、選手に故障などある場合は届け出の補欠をもって、順序よく組む。
- (3) 一旦、交代した選手は再び出場できない。
- (4) 選手が不足する場合は、後ろにつめて組む。(男子3人、女子2人まで出場可)
- (5) 内容も同じ場合は「引き分け」とし、任意の選手による代表戦を行う。代表戦は1回とする。
- (6) 団体戦は順位決定戦(3・4位, 5・6位)を行う。5・6位決定戦はベスト8で敗退したチーム同士で、トーナメント表の右パート同士、左パート同士で対戦し、5・6位決定は抽選で決めて県大会に出場する。
※順位決定戦は勝敗が決まった段階で終了とする。

10. 個人戦

- (1) トーナメント戦とする。連続して試合を行う場合、3分間休息をとる。
※男子90kg級のみリーグ戦とする。
- (2) 準決勝まで3会場で行い、決勝は男子A会場、女子B会場で行う。
- (3) 3、4位については優勝者に負けた者を3位、準優勝者に負けた者が4位として県大会に出場する。
- (4) 5、6位決定戦は、ベスト8で敗退した選手同士でトーナメント表の右パート同士、左パート同士で対戦する。県大会に6名参加できる階級は5・6位決定は抽選で決めて県大会に出場する。

(5) 県大会出場枠

男 子	出場人数	女 子	出場人数
※50kg級	5名	40kg級	4名
※55kg級	5名	※※44kg級	6名
※60kg級	5名	※※48kg級	6名
66kg級	4名	※52kg級	5名
73kg級	4名	57kg級	4名
81kg級	4名	※63kg級	5名
※90kg級	5名	※70kg級	5名
90kg超級	4名	70kg超級	4名
※※の階級は5, 6位抽選あり。 ※の階級は5位決定戦を行う。			

< 試 合 会 場 図 >

団体戦

救 護 ・ 本 部 ・ 受 付	観 覧 席
第 1 試 合 場	
第 2 試 合 場	
会 場 出 入 口	

個人戦

救 護 ・ 本 部 ・ 受 付	
第 1 試 合 場	第 2 試 合 場
選 手 控 え 場 所	第 3 試 合 場
会 場 出 入 口	

確認事項

(1) 団体戦は正式会場（第 1 ・ 第 2 ）で行う。2 審で行う。

(2) 個人戦は特設会場で行う。3 審で行う。

(3) 団体戦・個人戦ともに決勝戦は第 1 ・ 2 試合場で行う。

※個人戦の試合記録（トーナメント表）と 3 位までの入賞者の名前を確認し、本部に提出する。

※試合進行状況により会場を変更した場合は、変更先の会場の審判員で試合を行う。